新春 Special 座談会

学業、仕事を持ちながら 理美容師を目指す女性たち

理美容業で今もっとも大きな不安の1つが後継者問題。国家試験の春季受験者数は10年前と比べると、美容で一万人以上、理容では約1400人と千人以上の減少となっている。少子高齢化の影響もあるが、機械やパソコンソフトで人の代役ができない理美容の現場は今もそして未来へも深刻な問題として降りかかっている。

新春対談ではヘアラルト阪神理容美容専門学校で通信教育を受講している女子高生、女子大生、介護福祉士の3人に出席していただき、理美容師を目指すきっかけや思い、そして不安などを語ってもらった。

聞き手はラシェンテ、オーナー（株式会社クラフト・ワークス）の飯田純子さん、MCはヘアラルト理事長の半田まゆみさんがつとめた。

『お客さまに喜んでもらえる仕事！』『今の仕事に役立てたい！』

半田　ヘアラルト阪神理容美容専門学校では、通信課程として理・美容サロンに従事しながら国家資格取得を目指すプロコースのほかに、美容科には美容ドロンに勤務せずに国家資格を目指すことのできる一般コースを設置しています。今日は、その通信一般コースの代表として3人の学生に参加していただき、それぞれ学生であったり社会人であったりされるなかでどうして美容師を目指すことになったのか、どう学んでいるのかなどを語っていただく座談会を開くことになりました。そして、美容業界で経営者として活躍されている飯田純子先生をアドバイザーとしてお招きし、ご意見をうかがおうと思います。まずは3人に簡単な自己紹介をお願いします。

乾　私はこの学校に学びたのは高校1年生の秋で、今も高校に通いながら美容師になるための勉強を続けています。

半田　美容師の免許を取ろうと思ったきっかけは何だったんですか。

乾　中学2年生の時に兵庫県が実施している職場体験の「トライやるウィーク」で美容室に行ったことがきっかけです。人をキレイにする仕事を体験し、「なりたい！」と思いました。

萩原　私は現在、大学4回生ですが、ここに入学したのは2回生の秋でした。昔から髪の毛をさわったり化粧をしたりするのが好きで美容業界に進みたいという思いは強かったです。幸い、家族の反対もありませんでした。

半田　それはよかったですね。油利さんはすでにホームヘルパー2級の資格を持っていらっしゃるなかでどうしてこの業界を目指したのですか。

油利　両親が理容師という環境で育ち、私自身も手先に髪の毛の伸びた女性がいるのもありました。それに加え、以前に勤めていた老人ホームでの経験がきっかけになっています。そこに髪の毛の伸びた女性がいらっしゃったんですが外出ができない事情があり、私て、美容師の仕事に魅かれがきれいにしてあげると表るようになりました。

飯田　純子さん
株式会社
クラフト・ワークス
代表取締役

萩原　麻里奈さん
通信11期生
甲南女子大学文学部多文化
コミュニケーション学科4年

お客さまが信者になってくれるような、素晴らしい仕事

半田　今日は、皆さんに美容業界に対する思いなどを語っていただきましたが、最後に夢についてお教えください。

乾　私は皆さまから愛される美容師になりたいです。

萩原　美容に関するいろんなことを頑張ってから、ゆくゆくは経営者になりたいですね。

半田　素敵な夢ですね。油利さんは職場であるグループホームで活かしたいですか。

油利　訪問美容がしたいですね。そして、できましたら理容師の免許も取りたいですね。

半田　熱心ですね。美容師の免許をとった次に理容師も取る人は増えています。ね。グループホームでおじいさんのヒゲ剃りをするためらしいです。私の知り合いの美容専門学校では、ガンの専門病院で看護師をされている人が美容師免許を取って患者さんのシャンプーやカットまでされているようですよ。そうしたら他の看護師さんたちも許取得を目指して通信で学されているそうです。ヘアラルトでもボランティアで、敬老の日に施設カットやメイクなどを学生がしに行くのですが、特におばあちゃんたちが若い男の子にしてもらうとすごく喜んで一緒に写真を撮っりされています（笑）。

油利　直美さん
通信11期生
某グループホーム勤務
ホームヘルパー2級、介護福祉士

飯田　私のサロンでもボランティア活動を行なっています。カットなどをすると、その方がふわっといい表情になって若返ります。そんなことになすわれるのは素晴らしいことです。まさに美容のカ！ですね。

半田　それは、いい言葉ですね。

飯田　人の人生を変えられる、すごい力だと思います。あるホームヘルパーの方から、髪の毛を切ってあげたりお化粧をしてあげたりすることができるとなられる仕事ですよね。

半田　お客さまに近く接することができる感謝してもらえる仕事ですよね。

飯田　プライベートなことまでしゃべっていただき、ある方がいるというお話を伺ったことがあります。お客さまが若返ったり気持ちが華やいだりするので、美容師はお客さまから「ありがとう」と感謝されたことも含めると、9店舗になります。

半田　すごいですね。最初は宝塚からのスタートで、二宮や心斎橋など阪神間にたくさんいらっしゃいますが、どのような教育を心がけていらっしゃいますか。

飯田　社会人として恥ずかしくない人材を育てています。

半田　勉強会を開くなど愛情をもって育てられていらっしゃるのがわかります。先日、30周年のお祝いに招いていただいたのですが、飯田先生がスタッフから支持されていらっしゃると思いました。大学時代に学んだ教育に関することも役立っているんでしょうね。

飯田　無駄なことなんて一つもないんですよ。他の職業から美容師になっても、そのことがとても役立つ時がきます。

半田　油利さんも萩原さんも職場や大学で学んだことがきっと役立つことがあるでしょう。最後に飯田先生から何かメッセージはありませんか。

飯田　美容の仕事は大変という見方もありますが、この世の中にラクな仕事なんてものはありません。美容師関連の仕事はやっただけのことが返ってくるんです。いろいろ学んでいくうちに、「これだ！」というのが必ず見つかりますよ。

半田　萩原さんは今度ネイル検定にもチャレンジするんですよね。美容の仕事は技術すべてが全部、自分の貯金になりますからね。ぜひ頑張ってください。

友達からは大変だねと言われますが、やりがいがあります

半田　皆さんはヘアラルトの通信課程の一般コースにいますが、普通はこのコースを選んだのか教えていただけますか。

萩原　大学に通いながら勉強したかったので、母と一緒にインターネットで調べて決めました。

乾　私は早く専門学校に行きたかったので、通信にしようと思いました。そして親を説得していろいろな専門学校の説明会に行ったなかで、通いやすい環境であるヘアラルトを選びました。

半田　油利さんはどうですか。

油利　私は美容がたちらに近いという理由で、ネットなどで調べていたのですが、他の人からこの通信の一般コースについて教えてもらったということもあります。

半田　そうだったんですか。皆さん、それぞれですが、今のコースはレポート提出や毎週の曜日のスクーリング、それにプロコースの人たちと合同の集中スクーリングもあります。昼間の学校やお仕事との両立は情熱がガラッと変わりとてもにこやかになられたんですね。それを自の当たりにしてお勧めになってから経験の持ち主なんですね。純子先生はどうしての業界を目指されたのですか。

飯田　大学卒業後、教師になったわけですが、もっやることなすことに壁にぶつかっていました。子供たちのために良かれと思ってやっても、学校やPTA、教育委員会の制約にはばまれ、がんじがらめにされていました。それで嫌になって教師は3年で辞めてしまったんです。その時にふと思いました。遊んでいたら免許取出しのが、大学時代、普付けの師範を活かして阪神間のホテルの結婚式場でアルバイトをしていたことでした。その時、自分は着付けをやりながら、スピード感のある手際のいい、プロの美容師さんのお仕事ぶりを目の当たりにして感心しました。その美容師さんから「いい仕事ですよ」と勧められたことがあったんです。それを思い出して美容師を目指そうと思いました。でも、親には猛反対されました。

半田　免許を取られたのはいつでしょうか。

飯田　27才の時です。

半田　教師の時は窮屈さを感じられていましたが、美容業界に入ってどうでしたか。

飯田　まず業界に入る前に学校に行きましたが、驚きました。生徒のみんなが遊んでいて授業を聞いていない。紙飛行機が飛んでいるような状態でした（笑）。

半田　その当時はね（笑）。今はちゃんと目的を持っていますよ。みなさん勉強していますよ。

飯田　遊んでいたら免許取れないですもんね。

飯田　ついていけなくなりますよね。

飯田　当時は、中本の15歳の人とか水商売や専業主婦などをされながら学校に来てる人とかいろいろでした。そこでこの業界にとても興味を持って、私に何かできることはないかと反対されていたのですが、今の一般コースの曜日のスクーリングでは、倍の600時間のスクーリングを受けます。皆さんはどうして2年間で300時間のスクーリングを受けます。それが一般コースでは、倍の600時間のスクーリングを3年間で受ける必要があります。皆さんはどうして選んだのか教えていただけますか。

萩原　大学に通いながら勉強したので、母と一緒にインターネットで調べて決めました。

乾　私は早く専門学校に行きたかったので、通信にしようと思いました。そして親を説得していろいろな専門学校の説明会に行ったなかで、通いやすい環境であるヘアラルトを選びました。

半田　油利さんはどうですか。

油利　私は美容がたちらに近いという理由で、ネットなどで調べていたのですが、他の人からこの通信の一般コースについて教えてもらったということもあります。

半田　そうだったんですか。皆さん、それぞれですが、今のコースはレポート提出や毎週の曜日のスクーリング、それにプロコースの人たちと合同の集中スクーリングもあります。昼間の学校やお仕事との両立は大変ですが、好きなことだから頑張れます。

半田　お友達はクラブ活動をしたり遊んだりしていますが、何も思わないですか。

乾　周りよりも、夢に近づけているから、やれます。

飯田　すごいですね。

乾　集中スクーリングは大変なところもありますが、そんなに苦でもないです。友達からは大変だねと言われますが、やりがいがありますよ。

半田　油利さんはお仕事もされているなかでどうですか。

油利　集中スクーリングはハードですが、好きでやっているので大丈夫です。

半田　みなさん、とても充実していますね。同期の人たちとは仲良く、情報交換なども知しているんですか。

乾　集中スクーリングには私と同年代でサロンすでに働いて頑張っているメンバーが、刺激をもらっています。

半田　そうですね。通信に通いながら免許を取っているのでは、やはり素直な性格の人も数人いらっしゃいます。着付けの先生を聞いたほうがいいでしょうね。いろいろあるかもしれませんが、美容が好きという思いを持っていらっしゃる人は、学ぶ姿勢も違うし、おもてなしの心も備わっていると思います。だから必ず夢がかなうと言い切れます。

萩原　私はヘアやエステ、メイクなど美容全般に興味を持っていますが、どれがいいのかあっちこっちと迷っています。いろんなことを勉強して損をすることはありません。いろいろやっているうちに、「これだ！」というのが必ず見つかりますよ。

半田　萩原さんは今度ネイル検定にもチャレンジするんですよね。美容の仕事は技術すべてが全部、自分の貯金になりますからね。ぜひ頑張ってください。

乾　春菜さん
通信12期生
神戸市立六甲アイランド
高等学校3年

MC　半田　まゆみさん
ヘアラルト阪神
理容美容専門学校
理事長

半田　ヘアラルト阪神理容美容専門学校では、通信課程として理・美容サロンに従事しながら国家資格取得を目指すプロコースのほかに、美容科には美容ドロンに勤務せずに国家資格を目指すことのできる一般コースを設置しています。今日は、その通信一般コースの代表として3人の学生に参加していただき、それぞれ学生であったり社会人であったりされるなかでどうして美容師を目指すことになったのか、どう学んでいるのかなどを語っていただく座談会を開くことになりました。そして、美容業界で経営者として活躍されている飯田純子先生をアドバイザーとしてお招きし、ご意見をうかがおうと思います。まずは3人に簡単な自己紹介をお願いします。

乾　私はこの学校に学びたのは高校1年生の秋で、今も高校に通いながら美容師になるための勉強を続けています。

半田　美容師の免許を取ろうと思ったきっかけは何だったんですか。

乾　中学2年生の時に兵庫県が実施している職場体験の「トライやるウィーク」で美容室に行ったことがきっかけです。人をキレイにする仕事を体験し、「なりたい！」と思いました。

萩原　私は現在、大学4回生ですが、ここに入学したのは2回生の秋でした。昔

から髪の毛をさわったり化粧をしたりするのが好きで美容業界に進みたいという思いは強かったです。幸い、家族の反対もありませんでした。

半田　それはよかったですね。油利さんはすでにホームヘルパー2級の資格を持っていらっしゃるなかでどうしてこの業界を目指したのですか。

油利　両親が理容師という環境で育ち、私自身も手先に髪の毛の伸びた女性がいるのもありました。それに加え、以前に勤めていた老人ホームでの経験がきっかけになっています。そこに髪の毛の伸びた女性がいらっしゃったんですが外出ができない事情があり、私て、美容師の仕事に魅かれがきれいにしてあげると表るようになりました。

MC　半田　まゆみさん
ヘアラルト阪神
理容美容専門学校
理事長